

令和5年度 学校評価(自己評価・学校関係者評価)報告書

令和 6年 3月 19日
学校法人暁の星学園 高知聖母幼稚園

1. 本園の教育目標

豊かな愛の心を持ち、主体的・積極的に生きる人間性の基礎を育てる

(教育方針)

カトリック精神に基づいた幼児教育を行うとともに、マリア・モンテッソーリの教育指針に沿った人格形成を目指す

(目指す幼児像)

- ・神と人と自然を大切にする子ども
- ・思いやりと感謝の心を持つ子ども
- ・明るく素直な子ども
- ・自分で考え、自分で行動し、責任を持つ子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

モンテッソーリ教育に即した保育内容の充実と、教職員の資質向上を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	モンテッソーリ教育を基盤に保育の質向上を目指す。	B	今年度も継続してモンテッソーリ教員コースのリモート研修を受け、子どもたち一人ひとりの発達や興味、環境の工夫などに留意して保育に取り組むよう努めた。また、行事が子どもたちの負担にならないこと、子どもたちの自由を保障することにも留意し、ゆとりを持った年間計画を立てて保育を行った。新たにカリキュラムに取り入れたリズム遊びからも、子どもたちが伸び伸びと表現して楽しむ姿が多くみられるようになった。
2	子育て支援	B	園庭開放(てんしルーム)では、親子で楽しめる時間を提供すると共に、在園児との関わりを通してより園の特色を伝えていけるように工夫した。てんしルームから入園に繋がっているため、園の認知度を上げ参加者が増えていくよう今後も更なる工夫をしていきたい。 預かり保育では常時利用する園児が増え、職員の配置や環境整備など対応が難しくなっている。保護者のニーズに応えつつ安全に、ゆとりをもって預かり保育を実施できるようにしていきたい。
3	安全対策の強化	B	今年度は安全点検の方法を見直し、子どもたちが過ごす環境を隅々まで確認することで、職員の安全対策の意識も高まった。避難訓練では、繰り返し約束や身の守り方を伝えて訓練を重ねることで、子どもたち自身にも身を守る行動が身についてきたと感じる。今後はいざという時に備えて、様々な場面を想定した訓練内容を実践していきたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	子どもたち一人ひとりがのびのびと自分を表現し笑顔で園生活を送れるように、今年度は特に行事の在り方を見直した。子どもたちの負担にならないようゆとりを持った保育計画を立て実践することを大切にしたが、やはり行事前になると練習時間が増え、子どもたちの負担になったのではないかと感じる。モンテッソーリ教育の視点で子どもたちが自由にのびのびと身体を動かしたり、工夫して遊びを楽しむ時間を保障できるように今後も努めていきたい。新たにリズム遊びをカリキュラムに取り入れたことは、子どもたちの身体作りや表現、遊びに繋がり効果を得られたと感じる。子育て支援では、園庭開放の充実に努め一定の効果はあったが、入園に繋がるためには認知度を上げ新規の参加が増えるように工夫する必要がある。毎月の避難訓練により、子どもたち自身の防災意識は年々高まってきている。今後は職員一人ひとりの対応力を向上させていきたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	モンテッソーリ教育を基盤とした教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・継続してモンテッソーリ教育研修に全職員で参加する。 ・子どもたち一人ひとりの興味や関心に気付き、敏感期に適切な関わりと援助が出来るよう教職員の資質向上を目指す。 ・特別支援教育について、モンテッソーリ教育の視点からも理解を深めていく。
2	子どもの主体性を引き出す環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども中心で行事の在り方、進め方を考える。 ・サークルタイムの時間を大切にし、子どもたちが自分の意見を伝え合い、主体的に活動に参加できるようになる。 ・四季折々、子どもたちが自然に触れる機会を生活の中に織り込む。
3	保護者が安心できる幼稚園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き保護者とのコミュニケーションを大切にし、子どもたちの姿を伝えていけるように工夫する。 ・参観日などの園行事のほか、保護者が気軽に園に足を運ぶ機会を設け、保護者同士の交流の場を作る。 ・子どもたちが安全に園生活を送るため、教職員一人ひとりが危機意識を常に持つ。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・幼稚園職員は子どもたち一人ひとりに寄り添い、丁寧な保育を行っていると感じる。
今年度からは新たにリズム遊びを取り入れ、子どもたちの心身の発達のために良い環境を整えるなど、教育面での工夫が見られた。
- ・安全面においては避難訓練を毎月定期的に行っており、子どもたち自身が身を守る方法を習得してきている。
- ・ライフスタイルの変化や、仕事を持つ保護者が多くなっている中で、保護者間の交流が難しくなっている。園行事に合わせて短時間でも保護者同士の交流ができる機会を設けて欲しい。
- ・幼稚園存続のため、てんしルーム(園庭開放)などでより園の認知度を上げる工夫を期待する。